

## 日本学生支援機構奨学金申込者票

申込日 令和\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

申込者氏名 \_\_\_\_\_ 携帯番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

申込者連絡先 (住所) \_\_\_\_\_

Eメールアドレス \_\_\_\_\_

入学内定(希望) \_\_\_\_\_ 研究群 \_\_\_\_\_ 課程 \_\_\_\_\_

予定指導教員氏名 \_\_\_\_\_

出身大学 \_\_\_\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 学群/学部 \_\_\_\_\_ 学類 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

次のうち、審査を希望する奨学金【(1)～(3)】を1つ選択し、✓をつけてください。

(1)「第一種奨学金もしくは授業料後払い制度のみ」の審査を希望する

希望する奨学金を1つ選択してください。

※第一種奨学金と授業料後払い制度を併用で申し込むことはできません。

第一種奨学金を希望する

授業料後払い制度を希望する

(注) 進学時に変更できます。

(2)「第二種奨学金のみ」の審査を希望する

(3)「併用貸与」の審査を希望する

(併用貸与とは、「第一種奨学金もしくは授業料後払い制度」「第二種奨学金」の両方の奨学金の貸与を受けること)

「第一種奨学金もしくは授業料後払い制度」について、希望する奨学金を選択してください。

※第一種奨学金と授業料後払い制度を併用で申し込むことはできません。

第一種奨学金を希望する

授業料後払い制度を希望する

(注) 進学時に変更できます。

## 学業成績

(1) 成績証明書を間違いのないよう正確に集計して記入してください。なお、記入のため開封された同証明書は有効とします。

(2) 学業成績の評価が「A・B・C」でなされていない場合には、下記「成績評価対照表」を参照のうえ記入してください。(この対照表によりがたい場合には、未記入)

氏名 \_\_\_\_\_

評価	A	B	C	合格 (P)	認定 (N)	合計
修得単位数						
修得科目数	科目					

※修得科目数とは、単位を取得した科目の個数です。単位数とは別の物です。

※新入生を除く在学生について、成績証明書の提出は不要ですが表は記入してください。

### 成績評価対照表

	筑波大学評価	左記以外の成績評価の場合		
A	A=100~80	A+ =4.5=100~95 A0 =4.0=94~90	S	優
		B+ =3.5=89~85 B0 =3.0=84~80	A	
B	B=79~70	C+ =2.5=79~75 C0 =2.0=74~70	B	良
C	C=69~60	D+ =1.5=69~65 D0 =1.0=64~60	C	可
D	D=59以下		D	不可

# 本人の収入等に関する証明書類について

(授業料後払い制度のみ申請の学生は(4)のみ提出すること)

- (1) アルバイト証明書  
アルバイト収入のある者は、添付のアルバイト等証明書を提出すること。  
(2023年分については源泉徴収票があれば不要)
- (2) 奨学金に関する書類  
奨学金を受けている者は、奨学金採用決定通知書(写)または奨学金の受給を証明する書類を提出すること。(日本学生支援機構による貸与奨学金も含まれます。)
- (3) 父母等からの給付額を証明する書類  
奨学金案内「奨学金を希望する皆さんへ」の【用紙②】「収入計算書」の裏面に署名してもらうこと。(月別が記入できない場合は年額を小計に記入)
- (4) 市区町村長発行の所得証明書(授業料後払い制度申請者のみ/マイナンバーの記載は不要)  
定職収入のある者(配偶者を含む。)は提出すること。
- (5) 所得に関する証明書類(授業料後払い制度のみの申請者は不要)  
定職収入のある者(配偶者を含む。)は下表の該当する書類を提出すること。

該 当 事 項	証 明 書 類	発行機関
給与所得者	前年分の源泉徴収票(写)	勤務先
給与所得者で前年の途中または今年新たに就職した者	次のいずれかを提出すること。 ① 月収証明書 ② 給与明細書(写)(最近3ヶ月分)	
商・工・農・林・水産業・その他の事業所得者	① ~③のうち、該当するものすべてを提出すること。 ① 確定申告書(写) ② 青色申告決算書(写) ③ 市区町村・県民税申告書(写) (注)裏面や第二面の(写)についても提出すること。 (①~③の提出者は、所得証明書不要)	税務署 市区町村役場
その他	当該収入を証明できる書類	市区町村役場等

- (6) その他の収入を証明する書類  
預貯金からの取り崩し、各種手当を受給している等その他の収入については、「奨学金を希望する皆さんへ」第2部申込手順等 4. 収入に関する証明書類(P.27~30)を参照してください。

# アルバイト等証明書

(源泉徴収票、給与明細等が提出できない場合)

\_\_\_\_\_課程 \_\_\_\_\_ 学術院 \_\_\_\_\_ 年次  
学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

上記の者は、当方において下記のとおりアルバイトに従事していることを証明します。

## 記

1 雇用期間 年 月 日 ~ 年 月 日  
(対象期間は1月~12月です。年度単位ではありません。)

2 業務内容 \_\_\_\_\_

3 月当たり支払金額 \_\_\_\_\_円 (平均)

4 年当たり支払金額 \_\_\_\_\_円

年 月 日

会社等名

氏 名

印